

平成18年・第4回定例会議決結果
会期：平成18年12月4日～12月15日

(報告)

- ・行政視察の報告について
- ・例月出納検査の結果に関する報告について

(議案)

- ・平成17年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市水道事業会計決算の認定
- ・平成18年度登別市一般会計補正予算（第4号）について
- ・平成18年度登別市学校給食事業特別会計補正予算（第1号）について
- ・平成18年度登別市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について
- ・平成18年度登別市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- ・北海道後期高齢者医療広域連合の設置について
- ・登別市札内高原館条例の一部改正について
- ・公の施設に係る指定管理者の指定について
- ・平成18年度登別市一般会計補正予算（第5号）について

(諮問)

- ・人権擁護委員の候補者の推薦について

(意見書)

- ・森林・林業・木材関連産業政策と国有林野事業の健全化を求める意見書について
- ・2007年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率1/2復元を求める意見書について
- ・「法テラス」の更なる体制整備・充実を求める意見書について
- ・グレーゾーン金利を廃止し、サラ金高金利の規制を求める意見書について

(継続審査)

- ・登別市水道事業条例の一部改正について

決算審査特別委員会
会期：平成18年10月25日～10月27日

平成17年度決算審査特別委員会を3日間にわたり行いました。

一般会計歳入については

- 不能欠損額と収入未済額、及び収納対策本部の現状と課題について
- 自治体経営上、収入不足に対する今後の考え方について

一般会計歳出については

- 職員健康診断の未受診の対応及び総合検診での心の病気の状況について
- 登別市において重視すべき災害の捉え方について
- 民間シェルターの利用状況と被害状況について
- 障害者スポーツ大会における課題・問題等の総括について
- 生活保護相談体制のあり方、専任相談員配置の考え方について
- 勤労者特別融資積立金制度の利用状況及び周知方法の現状と今後の考え方について
- シカの食害対策の実態とシカ肉の地産地消の考え方について
- 亀田公園のこれまでの整備状況及び今後の整備計画について
- 消火栓新設事業の整備内容と消防水利の空白地域の状況、火災発生時の対応方法について
- スクールカウンセラー活動における拠点校方式の考え方及び相談内容について
- 登別市における特殊勤務の実態及び作業内容について
- 物品のチェック体制のあり方及び評価替えの考え方について

総括質疑は

- 土地開発公社が抱えている債務等の問題に対する今後の対応について
- グループ制導入に伴う責任の所在など、組織としてのあり方について

特別会計では

- 嘱託職員の雇用のあり方について
- 水道の有収率の全道状況について

以上の主な質疑に対しそれぞれ答弁がありました。質疑終了後、全会一致で原案を認定することに決定しました。

**補正予算審査
特別委員会**

特別委員会

一般会計の主な質疑は、
○ 児童手当の国、道、市の負担割合について

○ 後期高齢者医療費は、本来国の制度であるが、自治体が負担することに対する見解について

○ 学習状況調査研究経費の具体的な内容及び活動の詳細について

○ 学習状況調査と平成十九年の文部科学省の調査との関係について

編集後記

市民と議会との「かけ橋」を目的に発行された「でいすかす」も市の広報と一体化され、新たに大きな「橋」となりました。

創刊時に「議会は遠い存在」との声がありました。この橋を通して「身近な存在」へ、また一歩近づいたと思います。(天神林)

○ いじめ、非行等の全学的な実態調査について

○ 図書館書架の整理状況と今後の対応について

○ 図書蔵書を充実させるため、市民、市民以外からの寄贈の考えについて

○ 温泉供給事業の現況と今後の考え方について

等の質疑があり賛成多数で可決しました。

特別会計予算については

○ 給食センターの施設整備関係の内容について

○ ストレージタンクの整備状況及び損傷原因の調査究明について

○ ボイラー等の日常管理、点検の人的配置の考え方について

○ 下水道事業債の具体的内容と今後の見直しについて

○ 今後の下水道計画の見直しについて

等の質疑があり、全会一致で可決しました。